ID013 (cal.F52 ※)

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
また、シチズンホームページ（http://citizen.jp/）の「サポート」→「時計の操作ガイド」→「機種番号」で操作説明がご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、4 ケタと 6 ケタからなる番号が刻印されています。（右図）
この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の 4 桁が機種番号になります。
右の例では「1234」が機種番号です。

刻印の位置の例

1234-567890　1234-567890

時計によって表示位置は異なります。

※側番号は時計の特性によって表示位置が異なり、文字サイズも小さく判読しづらい場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

商品の特長

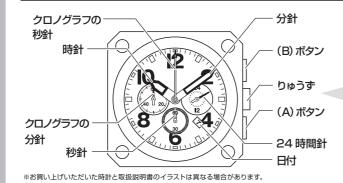
24 時間表示、クロノグラフ機能等を搭載した、アナログクオーツウオッチです。

仕　様

機種：	F52 ※
型式：	アナログクオーツウオッチ
時間精度：	平均月差 ±20 秒 （常温（+5 °C ～ +35 °C）での携帯時）
水晶振動子：	32,768Hz
動作温度：	–10 °C ～ +60 °C
表示機能：	時刻：時、分、秒、24 時間 カレンダー：日付 （日付のないモデルもあります） クロノグラフ：1 秒単位で最大 59 分 59 秒まで計測表示
使用電池：	小型銀電池 1 個 電池番号：280-39（SR626SW） 電池寿命：約２年（クロノグラフ１時間／日使用の場合）

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称

※お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

◆ねじロックりゅうず（ボタン）の使いかた

モデルによって、りゅうずやボタンがねじロック式の場合があります。
時計を操作しないときにりゅうずやボタンをロックすることで、誤操作を防ぎます。時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	りゅうずが飛び出すまで、左に回す	りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める

・りゅうずやボタンが、ねじロック式ではない場合は、ロック / ロック解除をすることなくお使いいただけます。

時刻の合わせかた

1 りゅうずを2段引き出します。

ねじロック式の場合はロック解除してください。

時刻修正位置

秒まで正確に合わせるには、秒針が0秒の位置にくるタイミングでりゅうずを引き出します。

2 りゅうずを回して時刻を合わせます。

24 時間針は時針に連動して回転します。24 時間針を見て午前／午後を判断してください。

分針を正しい時刻から数分進めてから戻すと、歯車の遊びがなく正確な時間合わせができます。

3 りゅうずを通常位置に戻します。

通常位置

ねじロック式の場合は必ずロックしてください。ロックしないと防水性能を保てません。

日付の合わせかた

（日付が付いているモデルの場合）　※日付は 31 日周期です。3、5、7、10、12 月の初めには日付を修正してください。

※午後９時～午前1時の間は日付合わせをしないでください。この時間帯に日付を合わせると、翌日になっても日付が変わらない場合があります。

1 りゅうずを 1 段引き出します。

ねじロック式の場合はロック解除してください。

日付修正位置

2 りゅうずを左に回して日付を合わせます。

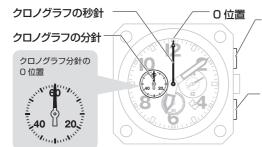
右にまわしても日付表示は変更できません。

3 りゅうずを通常位置に戻します。

通常位置

ねじロック式の場合は必ずロックしてください。ロックしないと防水性能を保てません。

クロノグラフの使いかた

0.2 秒単位の運針で、最大 60 分まで計測することができます。

(B) ボタン：計測スタート／ストップ

1. （B）ボタンを一度押すと計測をスタートします。
2. 計測中に再度（B）ボタンを押すと計測をストップします。
3. ストップ状態で再度押すと、その位置から再度計測をスタートします。

りゅうずが２段引き位置のときクロノグラフは使えません。
計測中にりゅうずを２段引くと、クロノグラフがリセットされます。

(A) ボタン：リセット

クロノグラフ分針／秒針をリセットします。

注意　強い衝撃が加わるとクロノグラフ分針／秒針がずれることがあります。
リセットしても位置が修正されない場合は、販売店またはメーカーへご相談ください。

クロノグラフの秒針の位置がずれたときは

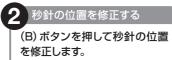
※0位置合わせ作業中は時計は止まります。作業後に時刻合わせをしてください。

リセットしてもクロノグラフ秒針が0位置に戻らない場合は、次の手順で秒針を0位置に合わせてください。

1 0位置修正状態にする

りゅうずを２段引き出します。

2 秒針の位置を修正する

(B) ボタンを押して秒針の位置を修正します。

・１回押す→秒針が１秒ずつ進みます。
・押し続ける→秒針が早送りされます。

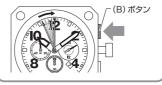
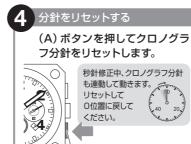
3 りゅうずを戻す

りゅうずを元の位置に戻します。

ねじロック式の場合はロックしてください。

4 分針をリセットする

(A) ボタンを押してクロノグラフ分針をリセットします。

秒針修正中、クロノグラフ分針も連動して動きます。リセットして0位置に戻してください。

お取り扱いにあたって

⚠ 注意　人への危害を防ぐために

・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
・サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 警告　防水性能について

・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
・日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
・日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計（10 ／ 20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。
・時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。
（1 bar は約 1 気圧に相当します）
・WATER RESIST (ANT) xx bar は W.R. xx bar と表示している場合があります。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様	使用例 水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
非防水時計	－	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3 気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5 気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10 気圧防水 20 気圧防水	○	○	○	×	×

⚠ 注意　使用上の注意

・りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
・万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗いよく拭き取ってください。
・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうずなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意　携帯時の注意

《バンドについて》
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります（脱色、接着はがれ）。また、かぶれの原因にもなります。
・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
・ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

《温度について》
・極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

《静電気について》
・クオーツ時計に使われているＩＣは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

《磁気について》
・アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、磁気調理器などに近づけないでください。

《ショックについて》
・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

《化学薬品・ガス・水銀について》
・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

⚠ 注意　時計は常に清潔に

・りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなることがありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
・ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
・ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたら、すぐに使用を中止して医師に相談してください。
・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

⚠ 注意　時計のお手入れ方法

・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
・金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
・時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などをよく拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

《夜光について》
時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。
・蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。
・光が十分に蓄えられていないと、暗い所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

⚠ 警告　電池の取り扱いについて

・幼児の手が届かない所に置いてください。あやまって電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
・電池は一般ゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。
・分解・改造・加熱はしないでください。事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意　電池交換について

・電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換をしてください。
・電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

保証とアフターサービス

<保証について>
正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用部品の保有期間について>
当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常７年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>
当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご転居・ご贈答品の場合>
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

<定期点検（有償）について>
安全に永くご使用いただくために、２～３年に一度、点検（有償）を行なってください。防水時計の防水性能は経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行なってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行なう必要がある場合もありますので交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

<電池交換について>
お買い上げの時計に使用されている電池は、工場出荷時に機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますので、ご了承ください。
※電池寿命が切れた場合は、保証期間内であっても電池交換は有料となります。

<その他お問い合わせについて>
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。